

第2期
広島広域都市圏発展ビジョン

～誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”広島広域都市圏を目指して～

《資料編》

2021年3月
広島市

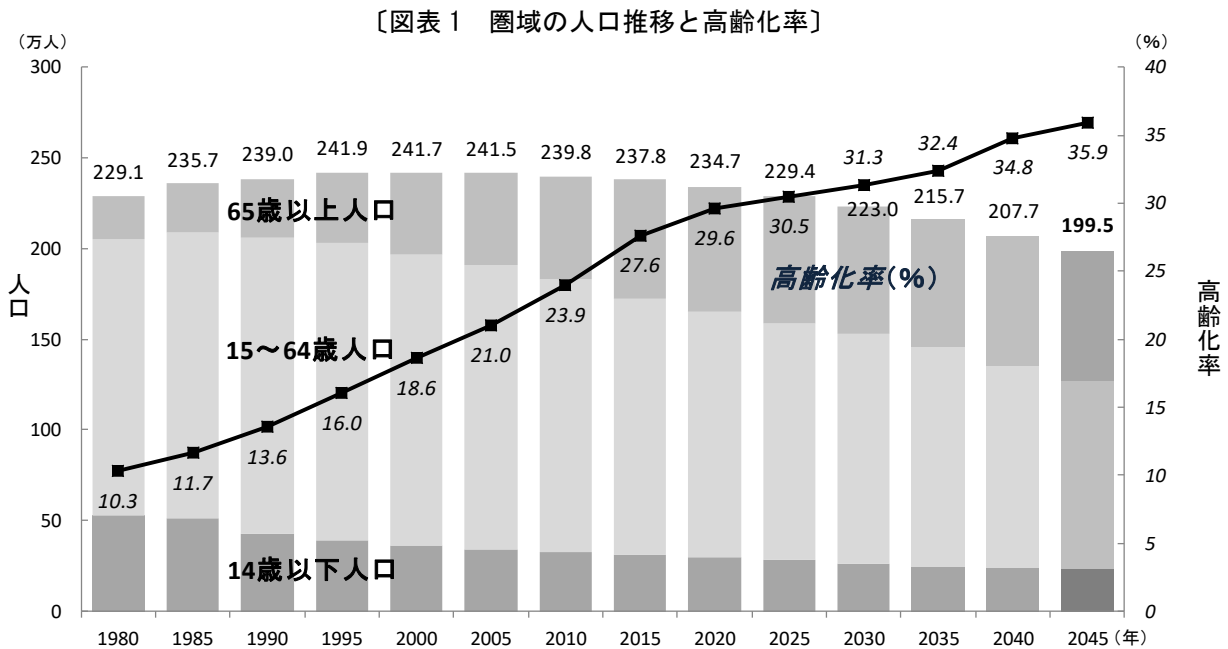
目 次

	頁
I 人口	1
1 人口推移と高齢化率	1
2 人口移動（地域別・年齢別）の状況	2
II 産業構造	3
1 総生産	3
2 経済活動別の総生産	3
3 工業	5
4 農林水産業	7
(1) 農業	7
(2) 林業	8
(3) 水産業	8
5 観光	10
(1) 観光資源	10
(2) 観光客数	11
(3) 外国人観光客	12
(4) 国際会議	12
III 高次都市機能の集積状況	13
1 医療	13
2 広域的な公共交通網等	17
(1) 鉄軌道	18
(2) 路線バス	19
(3) 航路	20
(4) 空港	20
3 高等教育	21

I 人口

1 人口推移と高齢化率

広島広域都市圏の人口は、1995年の約242万人をピークに減少に転じています。「国立社会保障・人口問題研究所」（以下「社人研」という。）が2018年3月に公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、2045年には200万人を割り込み、それ以降も減少すると推計されています。高齢化率は、2020年の29.6%から2045年には35.9%になると推計されています。



資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（2018年3月推計）」

[図表2 構成市町別の現在の人口及び将来推計人口]

(単位：人、%)

	2020年	2025年	2035年	2045年	増減率(2045年対2020年比)
広島市	1,207,517	1,205,175	1,175,450	1,122,112	△ 7.1
呉市	215,683	202,037	174,528	149,865	△ 30.5
竹原市	24,247	22,033	17,735	13,870	△ 42.8
三原市	91,746	86,928	76,868	66,640	△ 27.4
三次市	50,813	47,857	42,280	36,643	△ 27.9
大竹市	26,460	24,912	21,774	18,702	△ 29.3
東広島市	194,795	194,717	190,961	182,341	△ 6.4
廿日市市	115,065	114,359	111,027	105,410	△ 8.4
安芸高田市	27,699	25,902	22,529	19,232	△ 30.6
江田島市	21,765	19,218	14,597	10,774	△ 50.5
府中町	51,117	50,852	49,615	47,643	△ 6.8
海田町	28,579	27,352	24,975	22,733	△ 20.5
熊野町	22,649	21,247	18,112	15,507	△ 31.5
坂町	12,798	12,741	12,426	12,029	△ 6.0
安芸太田町	5,712	5,024	3,837	2,844	△ 50.2
北広島町	17,816	16,730	14,824	12,969	△ 27.2
大崎上島町	7,015	6,189	4,825	3,791	△ 46.0
世羅町	15,083	13,820	11,468	9,173	△ 39.2
岩国市	129,414	121,539	105,545	89,637	△ 30.7
柳井市	30,945	28,918	24,852	21,059	△ 31.9
周防大島町	15,086	13,145	9,801	7,095	△ 53.0
和木町	6,153	5,950	5,524	5,083	△ 17.4
上関町	2,359	1,979	1,367	913	△ 61.3
田布施町	14,575	13,728	11,944	10,154	△ 30.3
平生町	12,145	11,417	9,950	8,460	△ 30.3
広島広域都市圏	2,347,236	2,293,769	2,156,814	1,994,679	△ 15.0

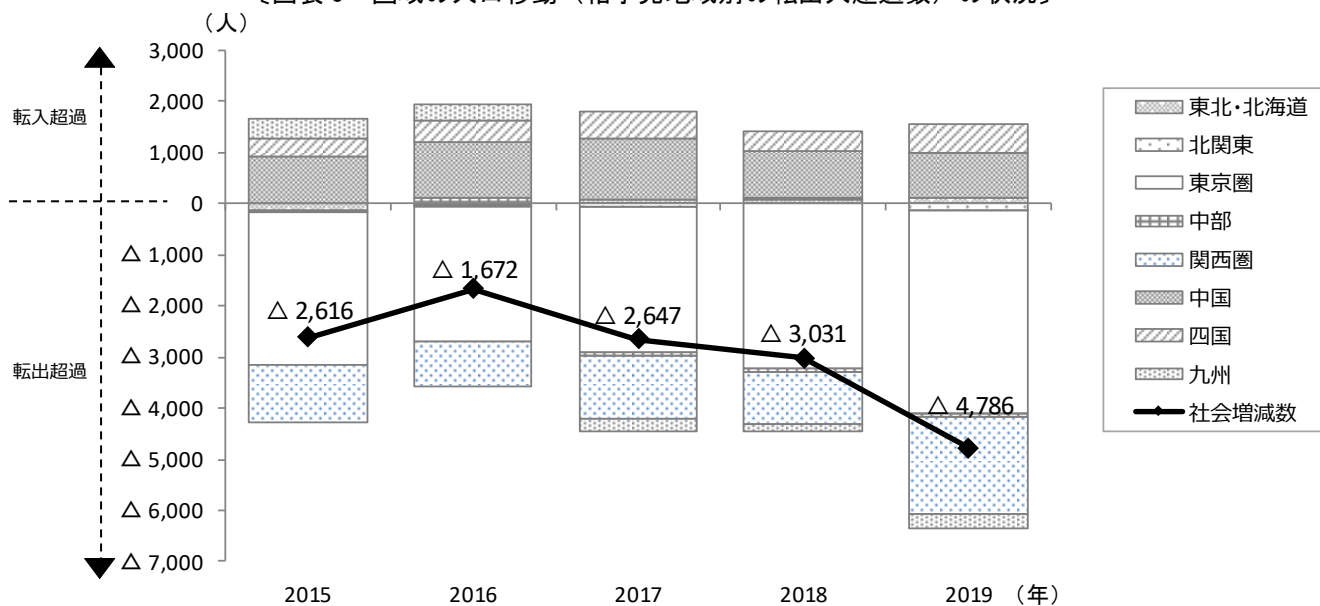
資料：社人研「日本の地域別将来推計人口（2018年3月推計）」

2 人口移動（地域別・年齢別）の状況

広島広域都市圏の人口移動（相手先地域別の転出入超過数）の状況を見ると、中四国地域では転入超過（転入者が転出者を上回っている状態）となっているものの、東京圏・関西圏では転出超過（転出者数が転入者数を上回っている状態）となっており、全体として転出が転入を上回る結果（社会減）となっています。

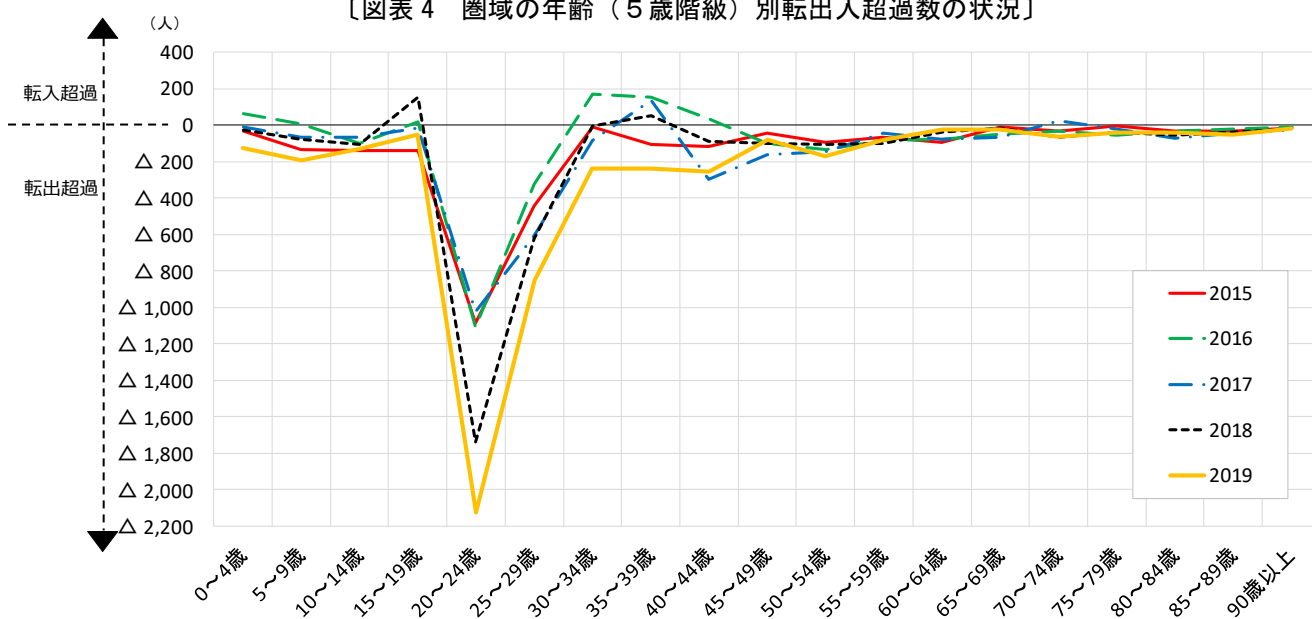
また、広島広域都市圏の年齢別転出入超過数の状況を見ると、就職に当たる年代（20～24歳）の転出超過が極めて多く、増加の一途をたどっています。

〔図表3 圏域の人口移動（相手先地域別の転出入超過数）の状況〕



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

〔図表4 圏域の年齢（5歳階級）別転出入超過数の状況〕



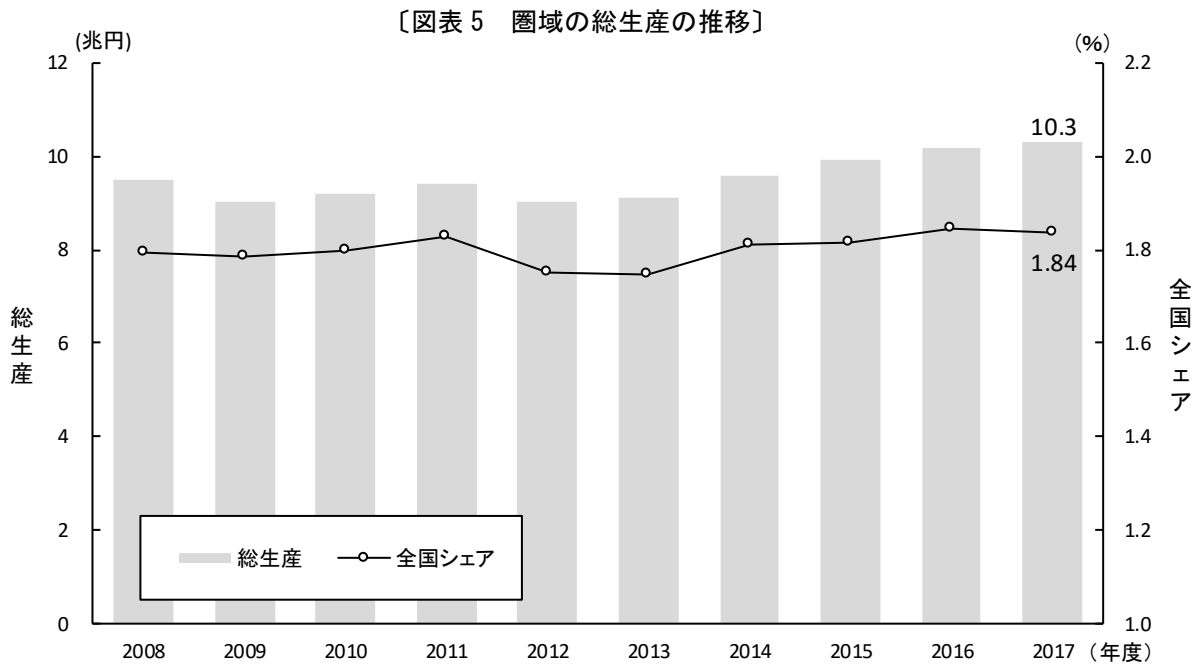
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

II 産業構造

1 総生産

広島広域都市圏の総生産は、10兆円前後、全国シェアは1.8%程度であり、我が国の景気変動にほぼ連動して成長・縮小しつつ、近年は増加傾向にあります。

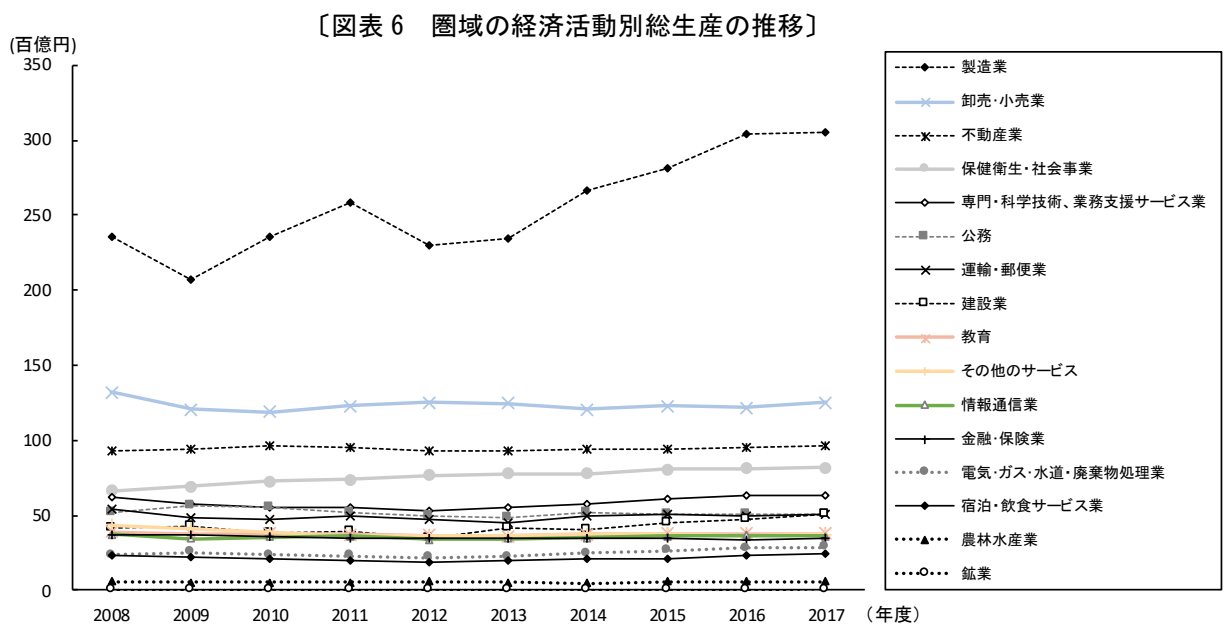
こうした中、全国的な人口減少が進むことにより、消費や就業者数の減少に伴う経済成長の低下が懸念されます。



資料：内閣府「平成29年度県民経済計算」、広島県・山口県「平成29年度市町民経済計算」

2 経済活動別の総生産

経済活動別の総生産をみると、広島広域都市圏では製造業が主要産業となっており、近年拡大傾向にあります。

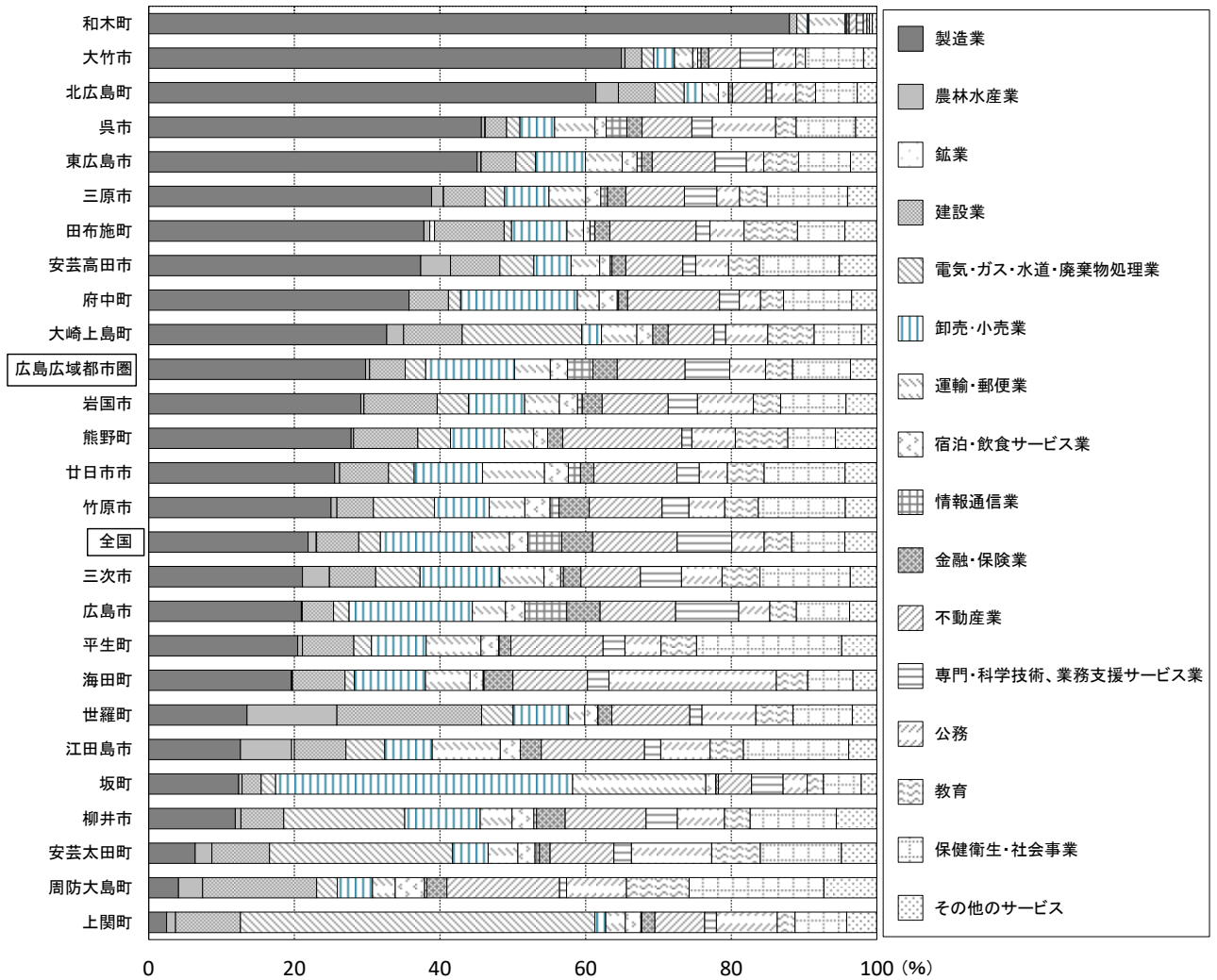


資料：広島県・山口県「平成29年度市町民経済計算」

また、経済活動別総生産構成比から市町別の産業構造の特徴をみると、25市町のうち14市町で製造業の構成比が全国を上回っており、製造業の立地に特色を有する市町が多くあります。このうち、和木町、大竹市、北広島町等で製造業の構成比が特に高くなっています。

反対に、製造業の構成比が全国を下回る11市町のうち、広島市及び坂町は、卸売・小売業、三次市、平生町、江田島市及び周防大島町は、保健衛生・社会事業、海田町は、公務、世羅町は、建設業、柳井市、安芸太田町及び上関町は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業に特色があります。

〔図表7 構成市町別の経済活動別総生産構成比（2017年度）〕



注) 経済活動別付加価値の合計（圏域の総生産とは異なる）に対する構成比です。

資料：内閣府「平成29年度県民経済計算」、広島県・山口県「平成29年度市町民経済計算」

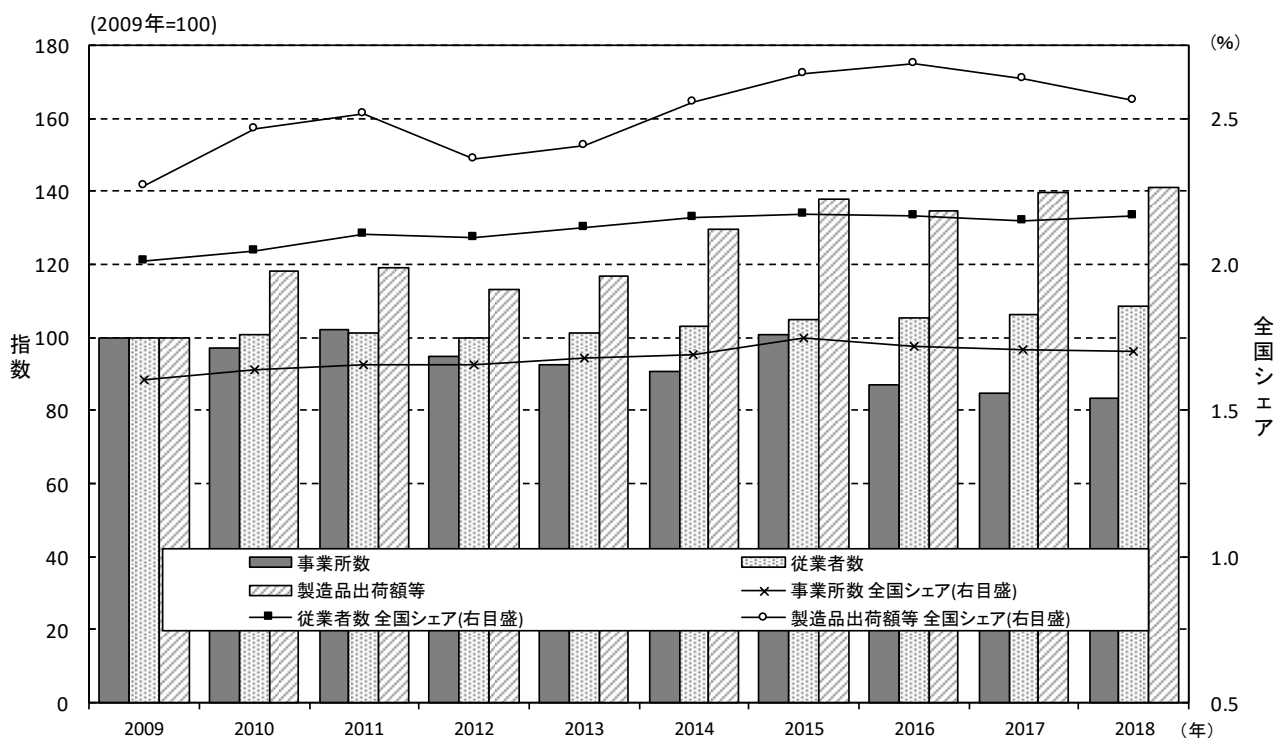
3 工業

自動車を中心とする輸送用機械器具などの加工組立型製造業から、化学、金属製品、鉄鋼などの基礎素材型産業、食料品などの生活関連型製造業まで、広島広域都市圏には、幅広い業種のメーカーが立地しています。

圏域の製造業の製造品出荷額等は、リーマンショックによる大幅な落ち込み（2009年頃）からは持ち直しています。

製造業の事業所数（従業員数4人以上）は、約3,200所、従業員数は、約17万人となっており、製造品出荷額等は、広島市が最も大きく、一方、労働生産性（従業員1人当たりの粗付加価値額）は、和木町が最も高くなっています。

〔図表8 圏域の製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移〕



注) 事業所数、従業者数と経理事項の調査時点が異なる場合の年次表記については、経理事項の年次に統一しています。

資料：経済産業省「工業統計調査」

[図表9 構成市町別の製造業の事業所数・従業者数 (2019年)]

	事業所数 (所)	従業者数 (人)	1事業所 当たり 従業者数 (人)		事業所数 (所)	従業者数 (人)	1事業所 当たり 従業者数 (人)
広島市	1,126	56,341	50	坂町	18	483	27
呉市	398	20,674	52	安芸太田町	13	228	18
竹原市	43	1,695	39	北広島町	68	3,747	55
三原市	177	8,649	49	大崎上島町	10	443	44
三次市	85	4,174	49	世羅町	41	801	20
大竹市	39	4,037	104	岩国市	158	8,375	53
東広島市	417	22,619	54	柳井市	35	1,478	42
廿日市市	161	7,460	46	周防大島町	11	296	27
安芸高田市	91	4,207	46	和木町	5	1,181	236
江田島市	37	904	24	上関町	3	21	7
府中町	24	12,757	532	田布施町	36	1,503	42
海田町	50	3,694	74	平生町	22	913	42
熊野町	85	1,971	23	広島広域都市圏	3,153	168,651	53

資料：経済産業省「工業統計調査」

[図表10 構成市町別の製造品出荷額等・粗付加価値額 (2018年)]

	製造品出荷額等 (億円)	粗付加価値額 (億円)	1事業所当たり 製造品出荷額等 (億円)	従業者1人当たり 粗付加価値額 (万円)
広島市	31,667	9,881	28.1	1,754
呉市	10,963	4,190	27.5	2,027
竹原市	808	147	18.8	866
三原市	3,907	1,234	22.1	1,427
三次市	1,130	374	13.3	897
大竹市	2,870	1,360	73.6	3,369
東広島市	8,608	4,065	20.6	1,797
廿日市市	2,073	879	12.9	1,178
安芸高田市	1,290	493	14.2	1,171
江田島市	221	120	6.0	1,330
府中町	5,928	470	247.0	369
海田町	924	237	18.5	641
熊野町	285	122	3.3	619
坂町	960	93	53.3	1,918
安芸太田町	45	17	3.5	730
北広島町	1,643	785	24.2	2,096
大崎上島町	626	75	62.6	1,687
世羅町	123	57	3.0	712
岩国市	3,415	1,464	21.6	1,748
柳井市	329	130	9.4	881
周防大島町	51	18	4.6	594
和木町	6,407	803	1281.3	6,799
上関町	2	1	0.7	602
田布施町	451	150	12.5	999
平生町	352	79	16.0	870
広島広域都市圏	85,078	27,244	27.0	1,615

注1)「製造品出荷額等」とは、1年間(1~12月)における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額をいいます。

注2) 単位未満は四捨五入したため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しません。

資料：経済産業省「工業統計調査」

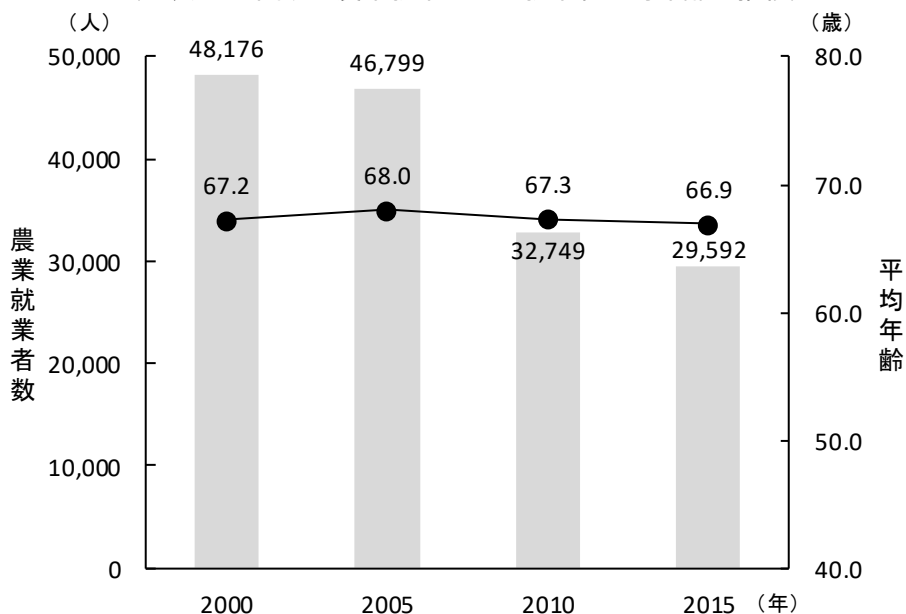
4 農林水産業

(1) 農業

就業者数が大きく減少するとともに、高齢化が顕著となっています。

圏域全体の総農家数は、約 45,000 戸、農業産出額は、約 820 億円となっており、農家 1 戸当たりの農業産出額は、世羅町が突出して多く、三次市がそれに続いています。

〔図表 11 圏域の農業就業人口・就業者平均年齢の推移〕



資料：総務省「国勢調査」

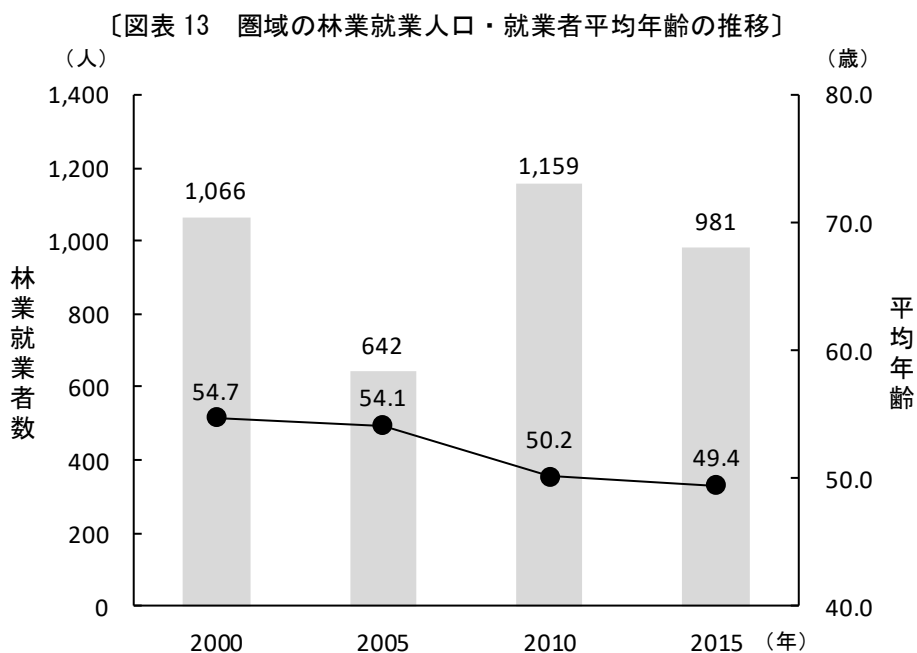
〔図表 12 構成市町別の総農家数（2015 年）・産出額（2018 年）〕

	総農家数 (戸)	農業産出額 (千万円)	農家一戸 当たり 農業産出額 (万円)		総農家数 (戸)	農業産出額 (千万円)	農家一戸 当たり 農業産出額 (万円)
広島市	6,135	575	94	坂町	44	0	0
呉市	2,970	425	143	安芸太田町	870	61	70
竹原市	767	130	169	北広島町	2,460	602	245
三原市	3,581	881	246	大崎上島町	485	124	256
三次市	4,291	1,329	310	世羅町	2,088	1,294	620
大竹市	292	14	48	岩国市	4,033	450	112
東広島市	6,526	789	121	柳井市	1,474	163	111
廿日市市	1,487	137	92	周防大島町	1,445	163	113
安芸高田市	3,319	836	252	和木町	30	1	33
江田島市	764	120	157	上関町	115	8	70
府中町	34	0	0	田布施町	657	59	90
海田町	102	2	20	平生町	473	31	66
熊野町	511	27	53	広島広域都市圏	44,953	8,221	183

資料：農林水産省「2015 年農林業センサス」、「平成 30 年市町村別農業産出額（推計）」

(2) 林業

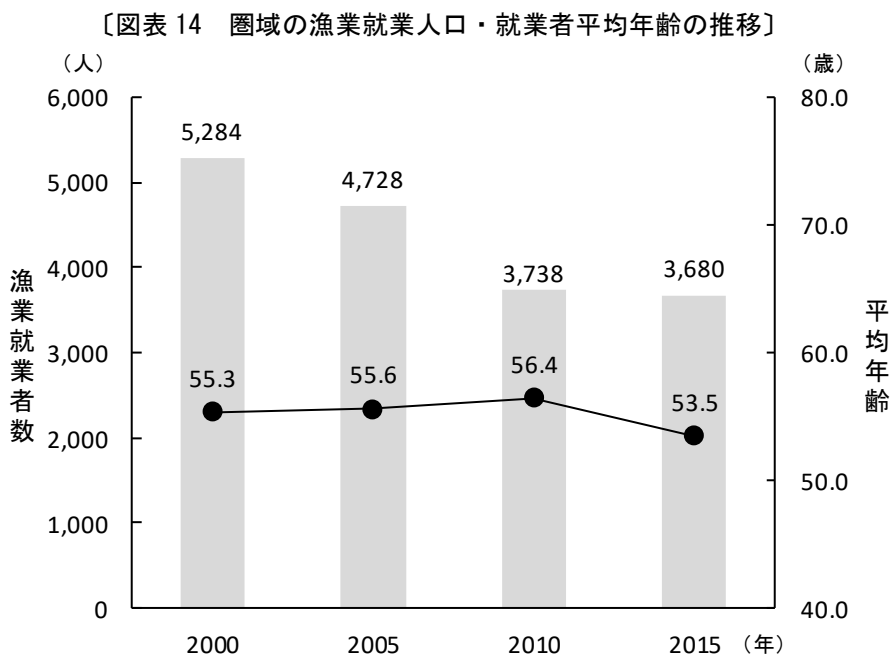
就業者数は、2010年に増加した後、2015年には減少に転じています。また、平均年齢は、年々低下しています。



資料：総務省「国勢調査」

(3) 水産業

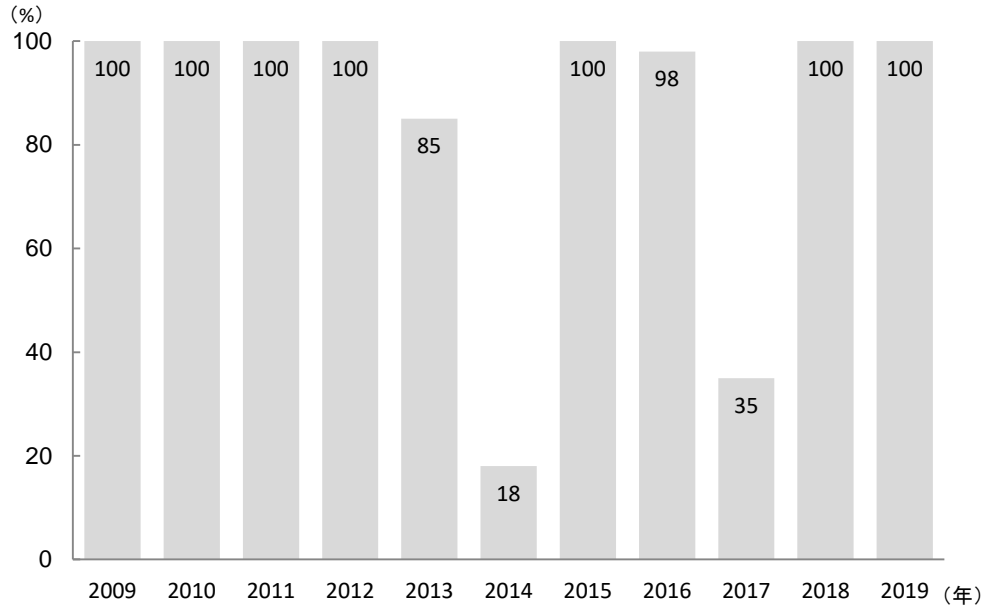
就業者数は、年々減少しています。また、平均年齢は、2010年までは上昇していたものの、2015年に低下しています。



資料：総務省「国勢調査」

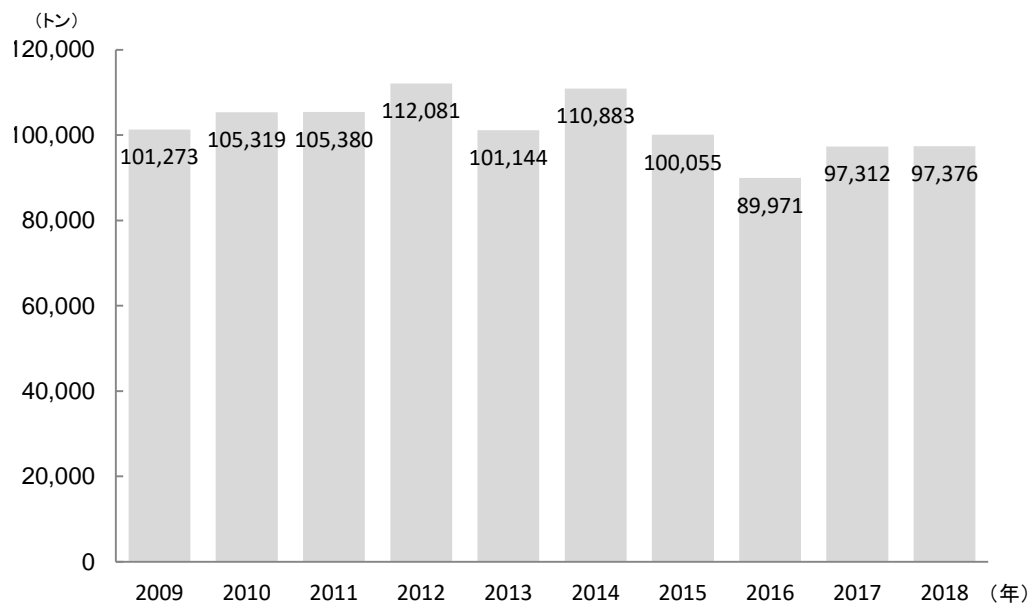
広島湾とその周辺では、かきの養殖が盛んですが、近年、採苗の不調があり、収穫量への影響が現れています。

〔図表 15 広島市かき養殖業者のかき採苗率〕



資料：広島市経済観光局調べ

〔図表 16 圏域のかき類収穫量（殻付き）の推移〕



注) 収穫量は秘匿を除きます。

資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

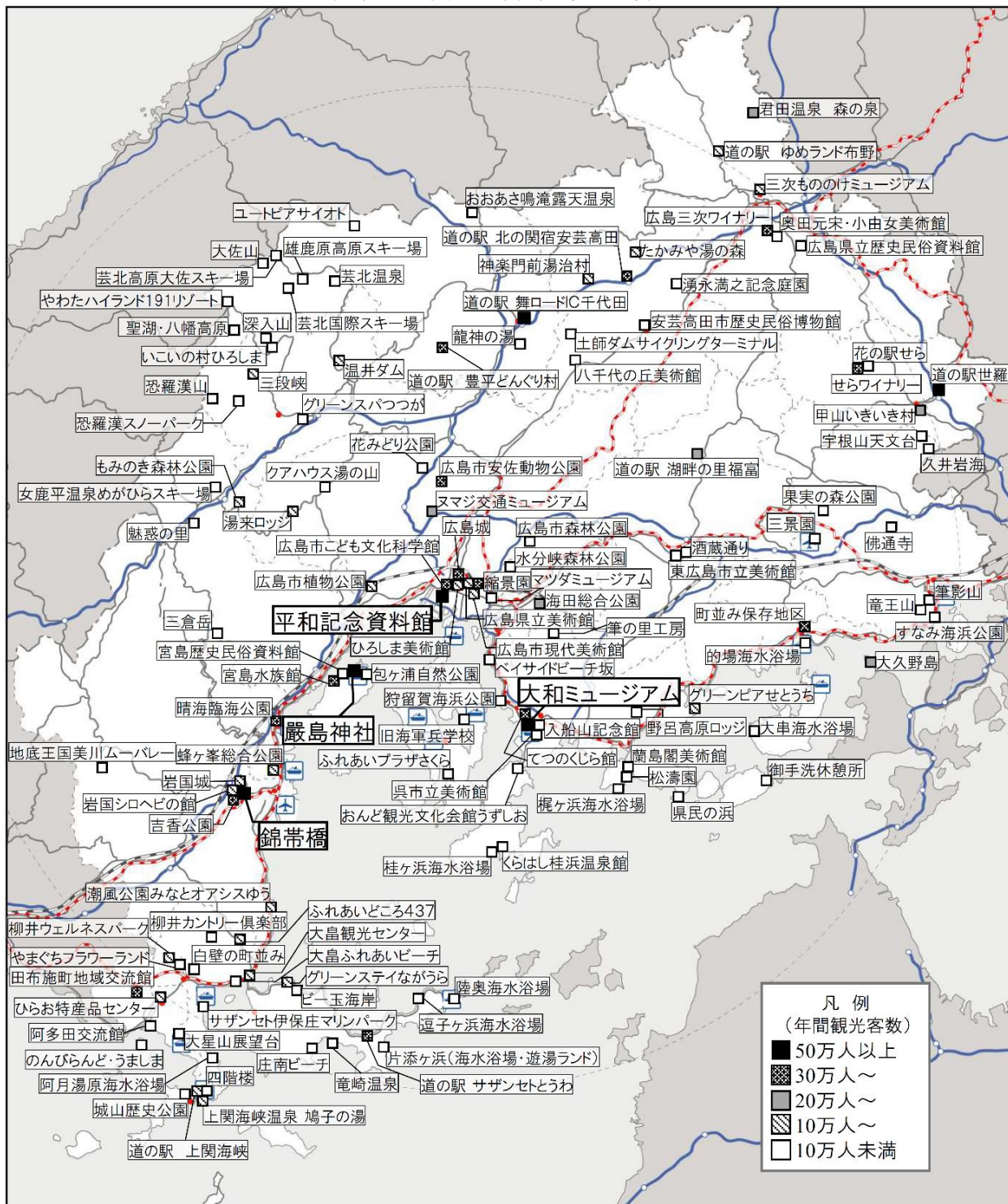
5 観光

(1) 観光資源

広島広域都市圏は、厳島神社（廿日市市）や広島平和記念資料館（広島市）、大和ミュージアム（呉市）、錦帯橋（岩国市）といった年間観光客数が 50 万人を超える施設等のほか、多様な文化・スポーツ施設等を有しています。

また、その周辺には、三段峡（安芸太田町）等の自然資源、神楽門前湯治村（安芸高田市）等の伝統芸能資源、さらには、竹原市、柳井市の重要伝統的建造物群保存地区等の歴史資源等を有しています。

〔図表 17 圏域の観光資源の分布〕



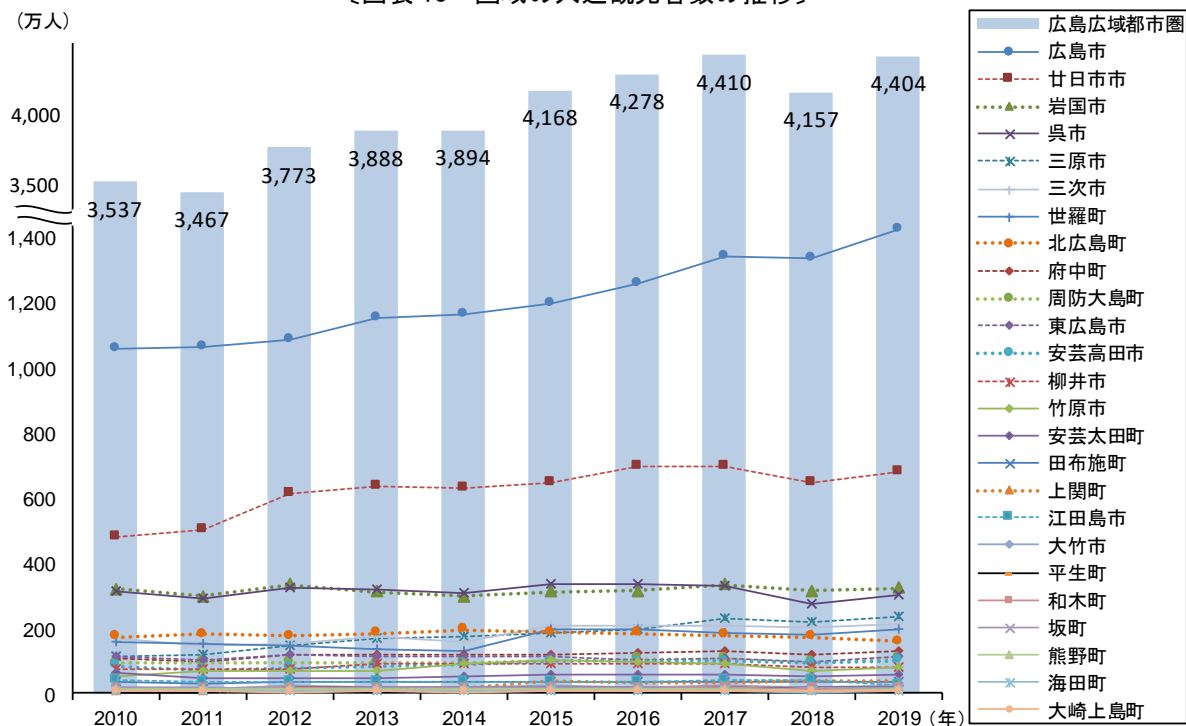
資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」、各市町調べ

(2) 観光客数

広島広域都市圏の入込観光客数は、2012年以降増加傾向にあります。2018年の入込観光客数は、7月に発生した豪雨災害や大型台風などの影響により減少に転じたものの、2019年は再び増加しています。

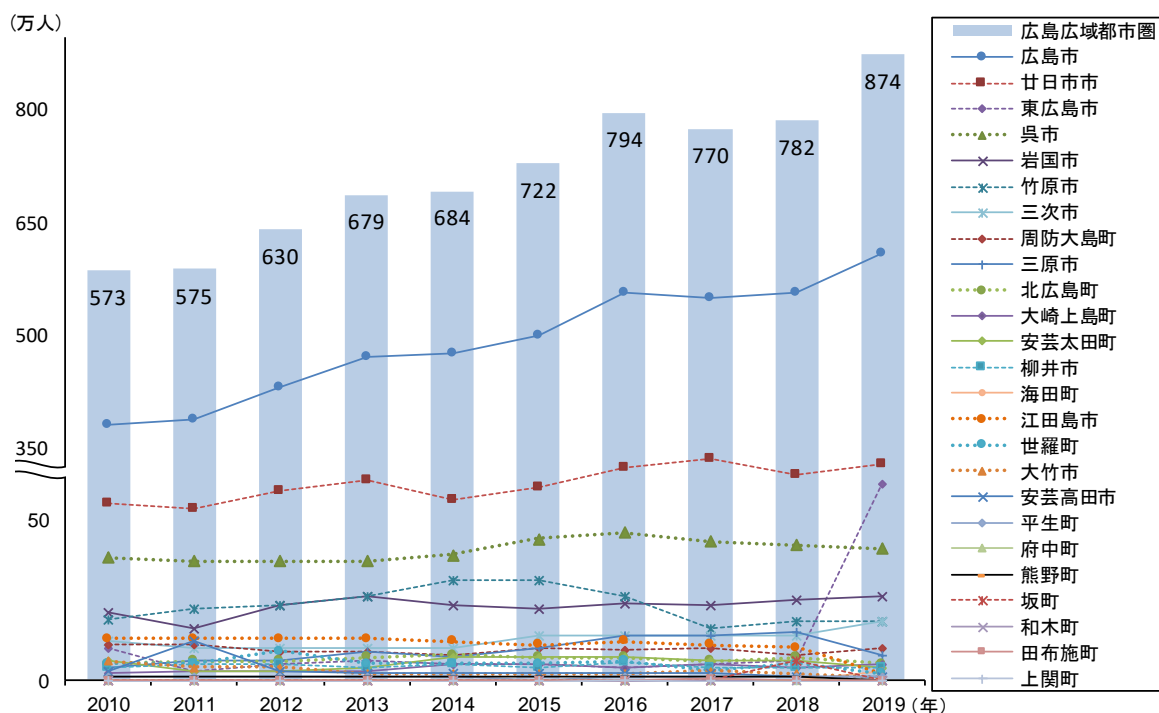
宿泊客数は、広島広域都市圏の中では広島市の占める割合が大きく、2010年以降増加傾向にあります。

〔図表 18 圏域の入込観光客数の推移〕



資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」

〔図表 19 圏域の宿泊者数の推移〕

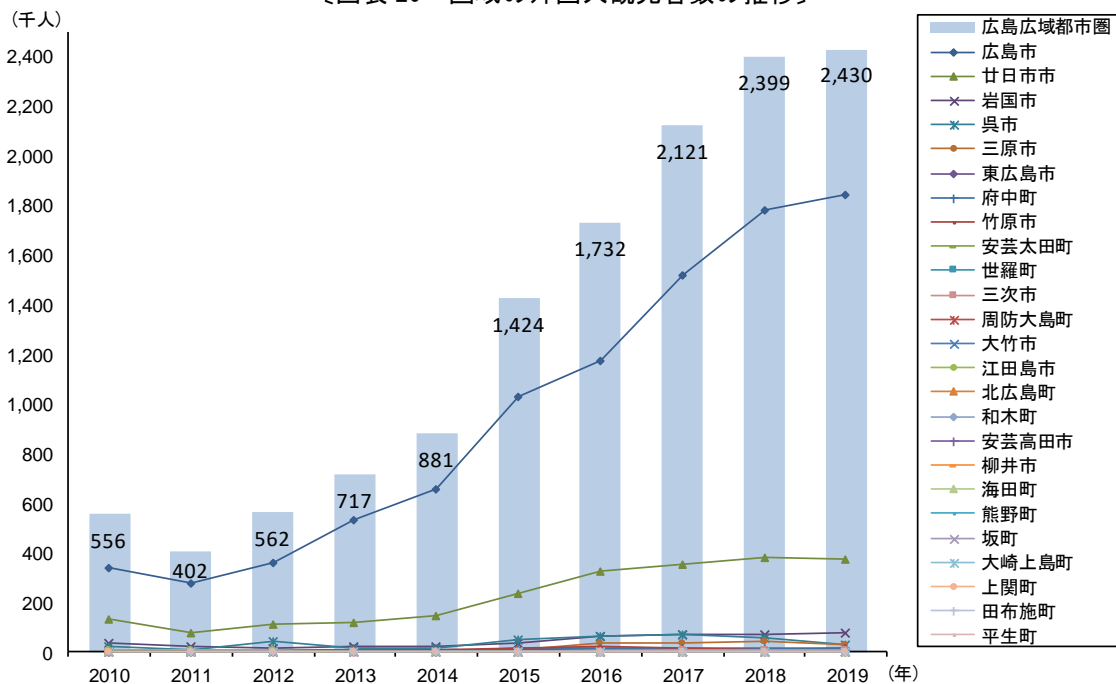


資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県統計年鑑」、山口県各市町調べ

(3) 外国人観光客

外国人観光客数は、広島広域都市圏の中では広島市が高い割合を占めており、2012年以降大きく増加しています。

〔図表 20 圏域の外国人観光客数の推移〕

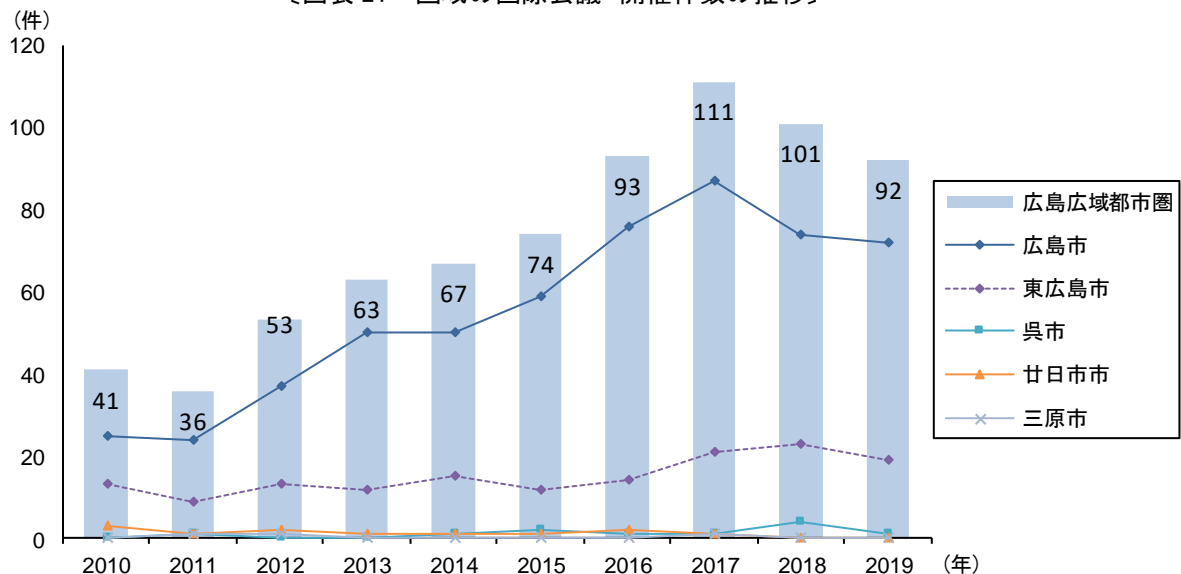


資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」

(4) 国際会議

広島広域都市圏で開催される国際会議件数は、2012年以降増加傾向にあるものの、2018年から減少に転じています。

〔図表 21 圏域の国際会議*開催件数の推移〕



- * 国際会議とは、次の各項目を全て満たすものをいいます。
- ・主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む。）又は国家機関・国内団体（民間企業を除く。）
 - ・参加者総数：50名以上
 - ・参加国：日本を含む3か国以上
 - ・開催期間：1日以上

* 1つの国際会議が複数の市にまたがって開催された場合、開催件数は各市で1件ずつ計上しています。

資料：日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

Ⅲ 高次都市機能の集積状況

1 医療

救急搬送人員数及びそれに占める高齢者の割合が年々増加する状況にあるなど、超高齢社会の到来に伴い、今後、医療需要は更に高まっていくとともに、救急要請をためらい症状が重症化する患者も潜在的にあるものと推測されます。

また、医療従事者の不足により、二次救急に係る病院群輪番制の維持が困難な市町があり、広島市等の医療機関がその機能を補完している状況が生じています。

圏域の住民が安心して地域で生活できるよう、疾病構造の変化や医療の高度化・複雑化などに対応した、質の高い医療サービスの安定的な提供が求められています。

〔図表 22 構成市町別の医療施設数（2019年）・医師数（2018年）〕

（単位：施設、人）

二次保健医療圏	市町名	医療施設			医師	
		病院数 （一般病院数） ※1	一般診療所数 ※2	人口千人 当たりの 医療施設数	医師数	人口千人 当たりの 医師数
広島	広島市	76	1,209	1.1	3,785	3.2
	安芸高田市	1	29	1.1	63	2.2
	府中町	1	41	0.8	108	2.1
	海田町	2	31	1.1	36	1.2
	熊野町	-	14	0.6	18	0.7
	坂町	1	10	0.9	40	3.1
	安芸太田町	1	6	1.1	15	2.4
	北広島町	3	15	1.0	33	1.8
広島西	大竹市	3	26	1.1	97	3.6
	廿日市市	9	99	0.9	300	2.6
呉	呉市	21	223	1.1	743	3.3
	江田島市	3	18	0.9	38	1.6
広島中央	竹原市	3	24	1.1	54	2.1
	東広島市	14	139	0.8	397	2.1
	大崎上島町	-	9	1.2	8	1.1
尾三 ※3	三原市	9	68	0.8	202	2.1
	世羅町	1	9	0.6	25	1.5
備北 ※4	三次市	5	52	1.1	144	2.7
岩国	岩国市	15	122	1.0	309	2.3
	和木町	-	5	0.8	6	0.9
柳井	柳井市	3	36	1.2	103	3.2
	周防大島町	3	13	1.0	39	2.4
	上関町	-	7	2.6	1	0.4
	田布施町	-	5	0.3	6	0.4
	平生町	1	9	0.8	27	2.3
広島広域都市圏		175	2,219	1.0	6,597	2.8

※1 一般病院とは、精神科病院及び結核療養所以外の病院をいいます。

※2 一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみを行う場所を除く。）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するものをいいます。

※3 尾三二次保健医療圏のうち尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

※4 備北二次保健医療圏のうち庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

資料：厚生労働省「令和元年医療施設（静態・動態）調査」「平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査」
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

[図表 23 圏域の救急医療体制 (2020年)]

二次保健医療圏	市(区)町	初期救急医療機関		二次救急医療機関	三次救急医療機関	
		休日夜間急患センター等	在宅当番医制			
広島県						
広島西	大竹市	○大竹市休日診療所 ○廿日市休日夜間急患センター	大竹市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○広島総合病院 ○広島西医療センター (救急告示病院・診療所) 2 医療機関	[地域救命救急センター] ○広島総合病院	
	廿日市市		佐伯地区医師会			
広島	広島市中・東・南・西・佐伯区	○千田町夜間急病センター ○広島市民病院 ○舟入市民病院 ○安芸市民病院 ○広島口腔保健センター	広島市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○舟入市民病院 ○荒木脳神経外科病院 ○一ノ瀬病院 ○いまだ病院 ○太田川病院 ○加川整形外科病院○梶川病院 ○広島記念病院 ○シムラ病院 ○広島赤十字・原爆病院 ○広島市民病院 ○土谷総合病院 ○浜脇整形外科病院 ○中電病院 ○吉島病院 ○JR広島病院 ○広島厚生病院 ○マツダ病院 ○五日市記念病院 ○安芸市民病院 ○藤井病院 ○一陽会原田病院 ○ヒロシマ平松病院 ○県立広島病院 ○齋整形外科 ○榎殿順記念病院 (救急告示病院・診療所) 43 医療機関	[救命救急センター] ○広島市民病院 ○県立広島病院 ○呉医療センター [高度救命救急センター] ○広島大学病院	
	広島市安芸区		安芸地区医師会			
	府中町					
	海田町					
	熊野町					
	坂町					
	広島市安佐南・安佐北区					安佐医師会
	安芸太田町					山県郡医師会 安芸高田市医師会
北広島町						
安芸高田市						
呉	呉市	○休日急患センター(内科夜間・小児夜間救急センター含む) ○呉口腔保健センター	呉市医師会 安芸地区医師会	(病院群輪番制参加施設) ○呉共済病院 ○済生会呉病院 ○中国労災病院 ○呉医療センター (救急告示病院・診療所) 11 医療機関	[救命救急センター] ○広島市民病院 ○県立広島病院 ○呉医療センター [高度救命救急センター] ○広島大学病院	
	江田島市		安芸地区医師会 佐伯地区医師会			
広島中央	東広島市	○東広島市休日診療所(歯科診療含む)	東広島地区医師会 賀茂東部医師会 竹原地区医師会	(病院群輪番制参加施設) * 東広島市安芸津町を除く。 ○西条中央病院 ○本永病院 ○東広島医療センター ○井野口病院 ○八本松病院 (救急告示病院・診療所) 8 医療機関	[救命救急センター] ○広島市民病院 ○県立広島病院 ○呉医療センター [高度救命救急センター] ○広島大学病院	
	竹原市	○竹原市休日診療所	竹原地区医師会	(病院群輪番制参加施設) * 東広島市安芸津町を含む。 ○県立安芸津病院 ○安田病院 ○馬場病院 (救急告示病院・診療所) 4 医療機関		
	大崎上島町		豊田郡医師会			
尾三※1	三原市	○三原市医師会休日夜間急患診療所	三原市医師会 世羅郡医師会	(病院群輪番制参加施設) ○興生総合病院 ○三原城町病院 ○三原赤十字病院 (救急告示病院・診療所) 7 医療機関	[救命救急センター] ○岩国医療センター	
	世羅町		世羅郡医師会	(病院群輪番制参加施設) ○公立世羅中央病院 (救急告示病院・診療所) 1 医療機関		
備北※2	三次市	○三次市休日夜間急患センター		(病院群輪番制参加施設) ○市立三次中央病院 (救急告示病院・診療所) 3 医療機関		
山口県						
岩国	岩国市	○岩国市医療センター 医師会病院救急センター	岩国市医師会 玖珂医師会	(病院群輪番制参加施設) ○岩国医療センター ○岩国市医療センター医師会病院 (救急告示病院・診療所) 5 医療機関	[救命救急センター] ○岩国医療センター	
	和木町					
柳井	柳井市	○休日夜間応急診療所		(病院群輪番制参加施設) ○周東総合病院 (救急告示病院・診療所) 3 医療機関	[救命救急センター] ○岩国医療センター	
	上関町					
	田布施町					
	平生町					
	周防大島町		大島郡医師会			

※1 尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※2 庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

[図表 24 圏域の拠点病院等の状況 (2020年)]

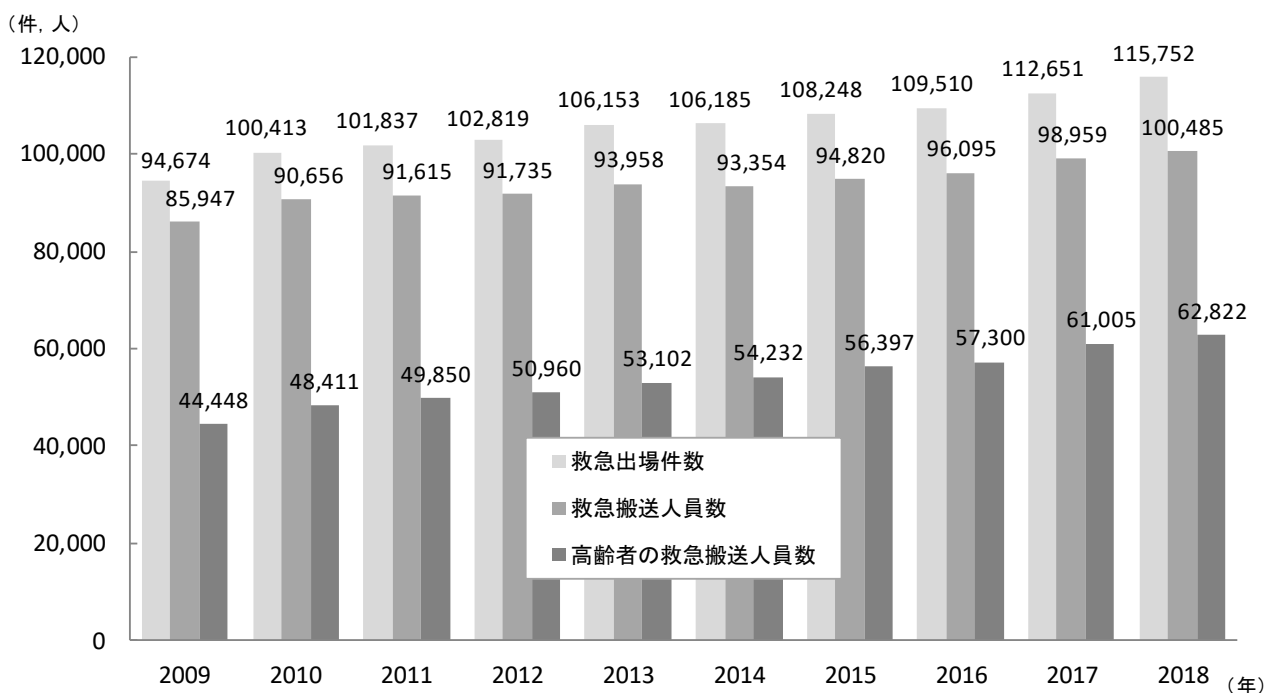
二次保健医療圏	圏域内市町	医療機関	小児救急医療拠点病院 (△は二次救急輪番)	周産期母子医療センター (○は地域、◎は総合)	がん診療連携拠点病院 (○は国、△は県が指定)	災害拠点病院 (◎は基幹災害拠点病院)	へき地医療拠点病院	
広島県								
広島	広島市 安芸高田市 府中町 海田町 熊野町 坂町 安芸太田町 北広島町	広島市民病院		◎	○	○		
		広島大学病院		○	○	○		
		広島赤十字・原爆病院				○	○	
		県立広島病院		◎	○	◎	○	
		安佐市民病院				○	○	○
		吉田総合病院						○
		安芸太田病院						○
		舟入市民病院	○					
		土谷総合病院			○			
		広島共立病院					○	
広島西	大竹市 廿日市市	広島西医療センター				○	○	
		広島総合病院			○	○	○	
呉	呉市 江田島市	中国労災病院	△	○	△	○		
		呉共済病院			△	○		
		呉医療センター	△	○	○	○		
広島中央	竹原市 東広島市 大崎上島町	東広島医療センター		○	○	○		
尾三	三原市 世羅町 (尾道市※1)	興生総合病院				○		
		三原赤十字病院				○		
備北	三次市 (庄原市※2)	市立三次中央病院	○	○	○	○	○	
山口県								
岩国	岩国市 和木町	岩国医療センター	○	○	○	○	○	
		岩国市医療センター 医師会病院				○		
柳井	柳井市 周防大島町 上関町 田布施町 平生町	周東総合病院			○	○	○	

※1 尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※2 庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

資料：各市町調べ (2020年4月現在)

〔図表 25 圏域の救急出場件数及び救急搬送人員数の推移〕



資料：広島県・山口県「消防防災年報」、備北地区消防組合「消防年報」、広島県各市町及び光地区消防組合調べ

〔図表 26 圏域の救急業務の実施体制及び救急出場件数・救急搬送人員数（2018年）〕

		(単位：件、人)		
消防本部	委託市町	救急出場件数	救急搬送人員数	高齢者の救急搬送人員数
呉市	—	11,411	10,109	7,305
三原市	世羅町	5,397	4,921	3,424
大竹市	—	1,426	1,227	878
東広島市	竹原市、大崎上島町	9,371	8,463	4,823
廿日市市	吉和地区を除く。	5,451	4,904	2,975
安芸高田市	—	1,549	1,498	1,068
江田島市	—	1,599	1,524	1,184
府中町	—	2,265	2,012	1,198
北広島町	—	1,071	976	661
消防一部事務組合	組合構成市町	救急出場件数	救急搬送人員数	高齢者の救急搬送人員数
備北地区消防組合	三次市（庄原市※1）	2,439	2,329	1,621
柳井地区広域消防組合	柳井市、周防大島町、上関町、平生町	3,737	3,353	2,525
光地区消防組合	田布施町（光市、周南市※2）	605	556	397
岩国地区消防組合	岩国市、和木町	7,566	6,830	4,787
広島広域都市圏		115,752	100,485	62,822

※1 備北地区消防組合のうち庄原市は本圏域外のため、三次市の数値のみ掲載しています。

※2 光地区消防組合のうち光市及び周南市は本圏域外のため、田布施町の数値のみ掲載しています。

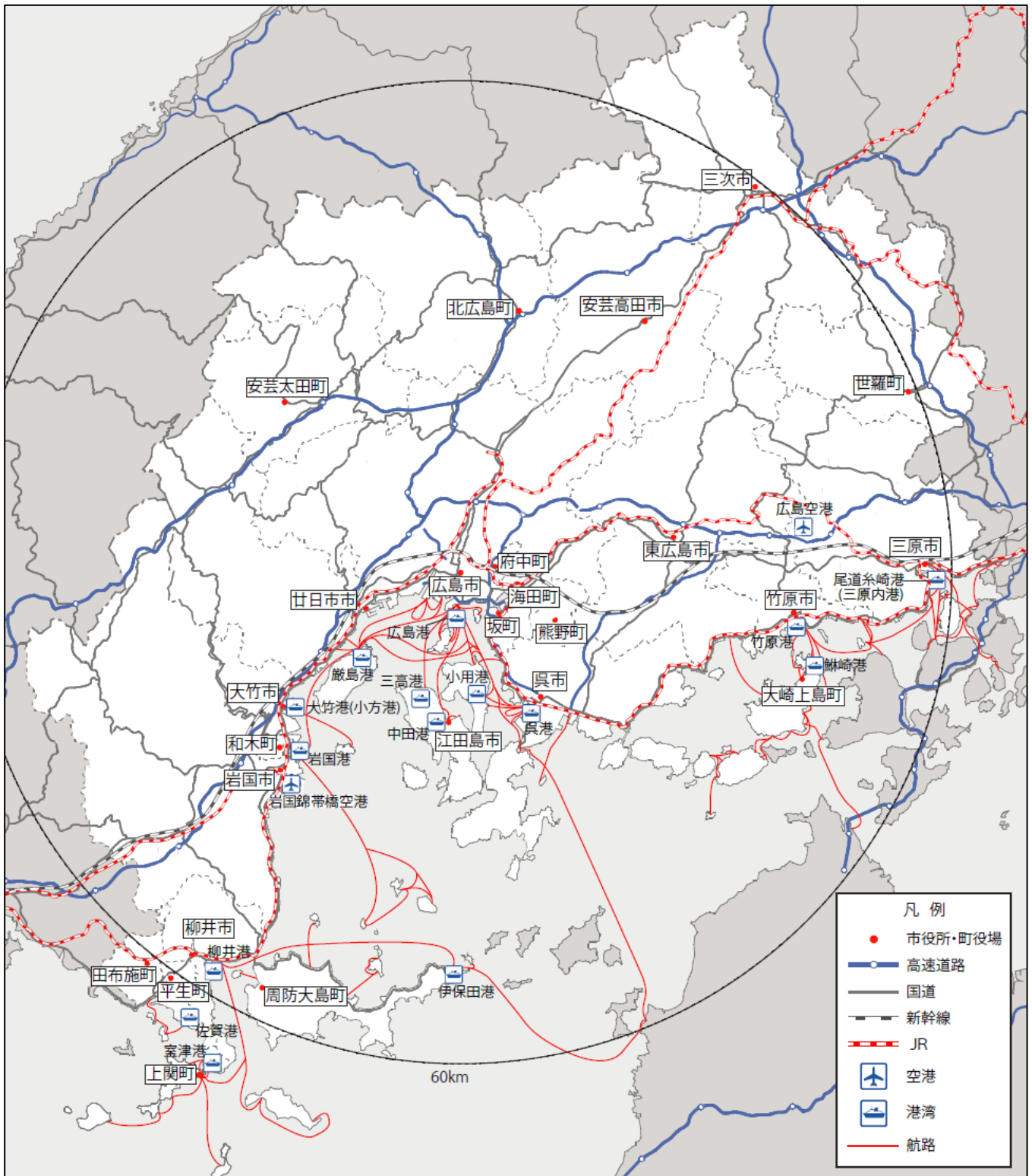
資料：山口県「消防防災年報」、備北地区消防組合・光地区消防組合「消防年報」、広島県各市町調べ

2 広域的な公共交通網等

活力ある圏域を形成するためには、地域の資源を圏域全体で活用していくことが重要であり、医療機関や教育施設などが利用しやすい環境を整えるとともに、圏域にわたるヒト・モノ・カネ・情報の循環を生み出す必要があります。

鉄道、航路を始めとする公共交通や高速道路などによる圏域内の多様な広域交通網の構築に向け、圏域内の市町と連携しながら公共交通網等の充実・強化を図る取組が求められています。

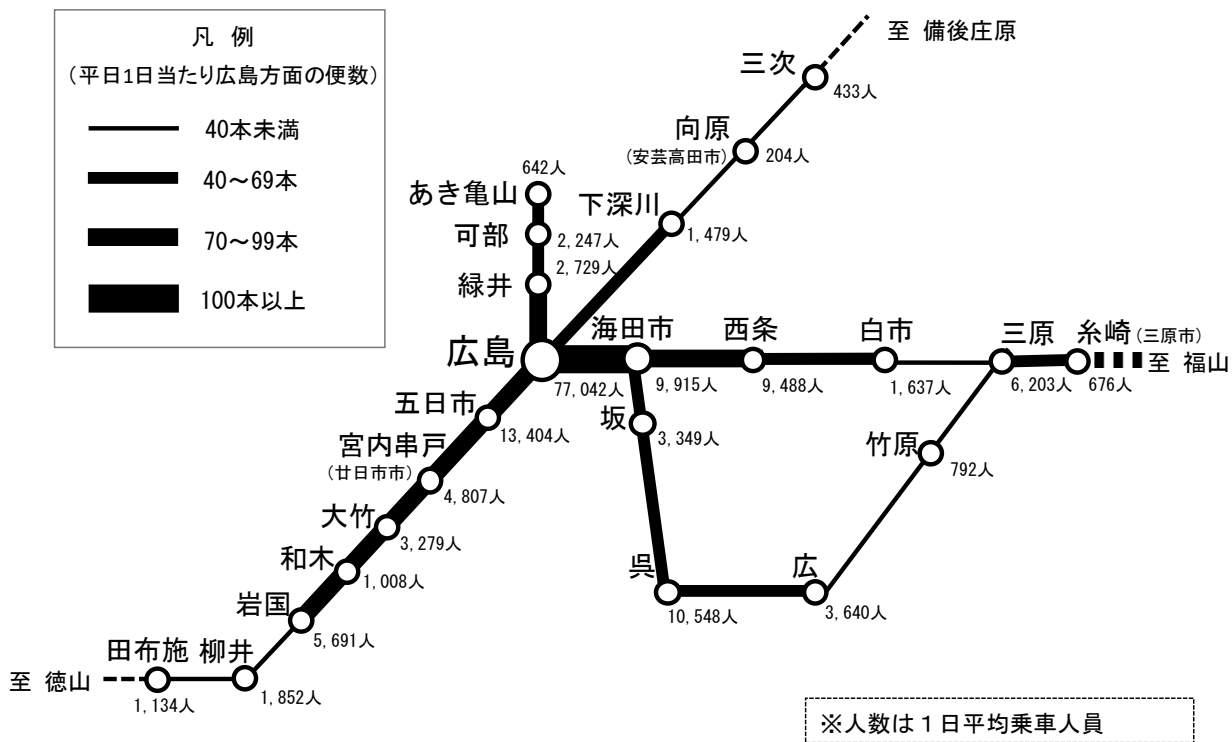
〔図表 27 圏域の交通ネットワーク〕



(1) 鉄軌道

広島広域都市圏には、JRや広電宮島線、錦川鉄道、アストラムライン、路面電車といった鉄軌道系の公共交通が整備されています。特に、JRの広島駅～岩国駅（岩国市）間や広島駅～白市駅（東広島市）間、広島駅～広駅（呉市）間、広電宮島線の全区間では多頻度運行が行われておりサービスレベルが高くなっています。

〔図表 28 圏域の鉄道ネットワーク・JR主要駅別 1日平均乗車人員数（2019年度）〕



資料：広島市道路交通局調べ

〔図表 29 圏域の交通機関別 1日平均乗車人員数（2019年度）〕

(単位：人)

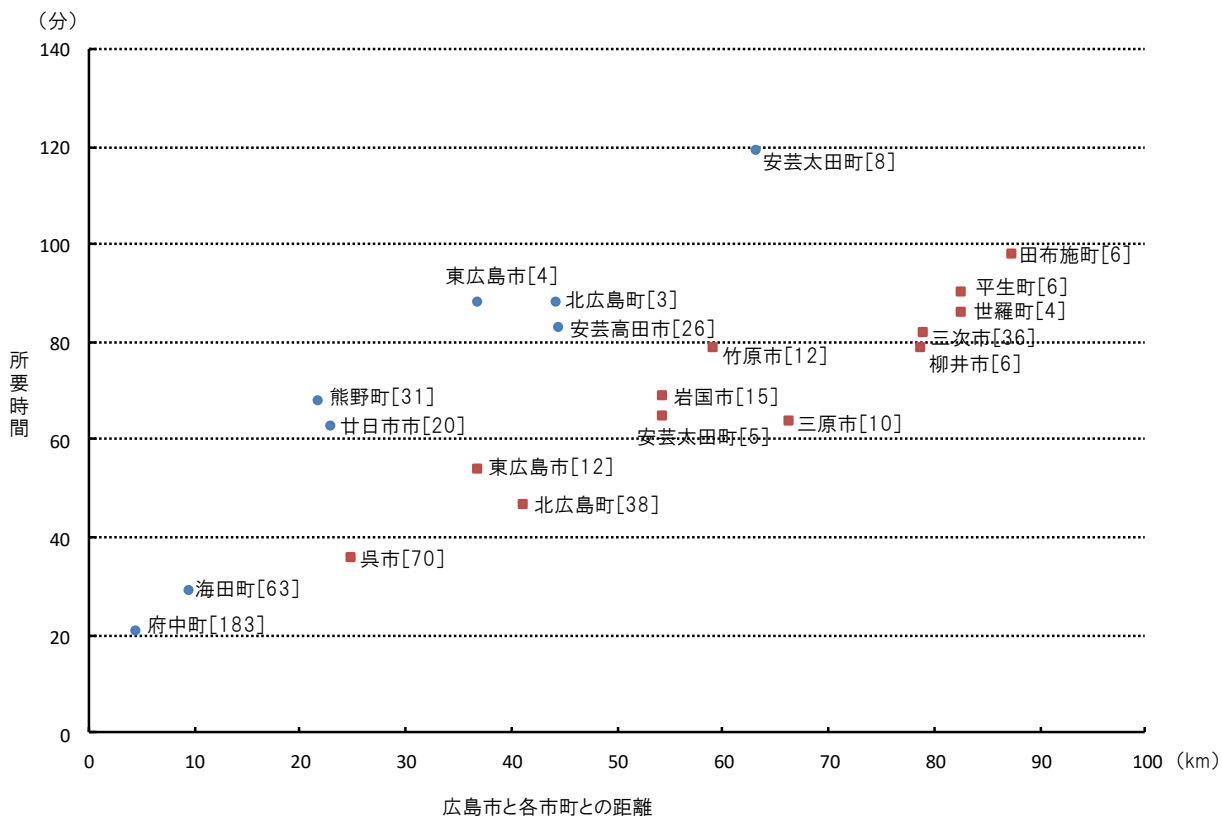
交通機関	1日平均乗車人員数
広島電鉄 市内線（路面電車）	103,372
アストラムライン	65,612
広島電鉄 宮島線	46,046
錦川鉄道 錦川清流線	443

資料：広島市道路交通局、広島電鉄株、錦川鉄道株

(2) 路線バス

広島広域都市圏では、バスも都市間交通の重要な役割を担っています。特に、高速バスは広島市を中心に多くの市町へ運行しており、重要な広域移動手段となっています。

〔図表 30 広島市と構成市町間の路線バスによる所要時間及び路線バスの便数（2020年11月現在）〕



注1) ■ は、路線バスのうち高速道路を走行するものです。

注2) 市町間の距離は、各市町中心部（市役所、町役場周辺）から広島市中心部（広島市役所、広島バスセンター、広島県庁）までの運行距離としています。

注3) [] 内は各市町中心部から広島市中心部への路線バスの便数を表しています。ただし、三原市は三原久井 I C まで、廿日市市は四季が丘・阿品台までの便数としています。

資料：各社ホームページ掲載の時刻表

(3) 航路

江田島市や大崎上島町といった島しょ部の自治体や、宮島（廿日市市）や阿多田島（大竹市）、平郡島（柳井市）などにおいては、日常の生活交通として、航路が重要な役割を担っています。

〔図表 31 圏域の主要港湾別主な行先・船舶乗降人員数（2018年）〕

港湾	所在地	主な行先（圏域内）	船舶乗降人員数※1
広島港	広島市	江田島、能美島（江田島市）、呉（至 松山）、宮島（廿日市市）	2,254,700
呉港	呉市	広島（自 松山）、江田島	769,485
竹原港	竹原市	大崎上島、契島（大崎上島町）、大崎下島（呉市）	642,540
尾道系崎港 （三原内港）	三原市 （尾道市・福山市※2）	佐木島（三原市）	487,597
大竹港（小方港）	大竹市	阿多田島（大竹市）	63,453
厳島港	廿日市市	宮島⇄宮島口、広島	8,622,866
小用港	江田島市	広島、呉	1,438,967
中田港	江田島市	広島	514,232
鮎崎港	大崎上島町	竹原、大崎下島	713,860
岩国港	岩国市	黒島・端島・柱島（岩国市）	23,578
柳井港	柳井市	屋代島（周防大島町/至 松山）、平郡島（柳井市）、祝島（上関町）	160,551
伊保田港	周防大島町	柳井（至 松山）	9,725
室津港	上関町	柳井、祝島・八島（上関町）	22,679
佐賀港 ※3	平生町	馬島（田布施町）、佐合島（平生町）	19,549

※1 船舶乗降人員数は、港湾区域全体の数値です。

※2 尾道系崎港は3市にまたがっています。

※3 佐賀港の船舶乗降人員数は佐賀港（平生町）及び尾津港（田布施町）を合わせた数値です。

資料：国土交通省「港湾統計（年報）」、熊南総合事務組合

(4) 空港

圏域内には、広島空港及び岩国錦帯橋空港があり、それぞれ、国内線及び国際線の定期便又はチャーター便により国内外の各都市を結び、圏域外との交通を担っています。

〔図表 32 広島空港及び岩国錦帯橋空港の利用状況（2019年度）〕

		（単位：人）		
国内路線	路線	搭乗者数	搭乗者数（計）	
国内 路線	東京（羽田）	2,035,207	2,669,525	
	東京（成田）	249,857		
	札幌（新千歳）	167,840		
	仙台	76,585		
	沖縄（那覇）	135,896		
	その他（チャーター便）	4,140		
広島空港	ソウル	36,563	304,683	
	大連・北京	33,827		
	上海・成都	57,773		
	国際 路線	台北		84,778
	香港	42,264		
	シンガポール	34,378		
	バンコク	5,160		
	その他（チャーター便）	9,940		
	岩国錦帯橋空港	国内 路線		東京（羽田）
沖縄（那覇）		69,433	483,790	

資料：広島県「令和元年度広島空港の利用状況について」
山口県「令和元年度における県内空港の利用状況について」

3 高等教育

圏域内には17大学、6短期大学及び3高等専門学校があり、約57,000人の学生が学んでいます。

〔図表 33 大学（大学院）・短期大学・高等専門学校別の学生数（2020年）〕

学 校 名	所在地	学 生 数		
		大 学 (高専は本科)	大学院 (高専は専攻科)	合 計
国公立大学				
広島大学	東広島市 広島市	10,678	4,513	15,191
県立広島大学 ※	広島市 三原市	1,720	155	1,875
広島市立大学	広島市	1,795	235	2,030
私立大学				
広島修道大学	広島市	6,320	52	6,372
安田女子大学	広島市	5,062	26	5,088
広島工業大学	広島市	4,551	103	4,654
広島国際大学	東広島市 呉市	3,853	72	3,925
広島経済大学	広島市	3,235	18	3,253
近畿大学（工学部）	東広島市	2,152	72	2,224
比治山大学	広島市	1,607	12	1,619
広島文化学園大学	呉市 坂町 広島市	1,429	32	1,461
広島文教大学	広島市	1,434	5	1,439
広島女学院大学	広島市	1,310	8	1,318
広島都市学園大学	広島市	925	8	933
日本赤十字広島看護大学	廿日市市	578	31	609
広島国際学院大学	広島市	563	4	567
エリザベト音楽大学	広島市	233	39	272
短期大学				
比治山大学短期大学部	広島市	476	-	476
広島文化学園短期大学	広島市	421	-	421
安田女子短期大学	広島市	294	-	294
山陽女子短期大学	廿日市市	285	-	285
岩国短期大学	岩国市	109	-	109
広島国際学院大学自動車短期大学部	広島市	50	-	50
高等専門学校				
呉工業高等専門学校	呉市	817	64	881
大島商船高等専門学校	周防大島町	671	30	701
広島商船高等専門学校	大崎上島町	675	19	694
広島広域都市圏		51,243	5,498	56,741

※ 庄原市は本圏域外のため、県立広島大学の学生数は、同大学庄原キャンパスの学生数を除きます。
資料：大学ポータル（大学・短期大学の教育情報公表ウェブサイト）、
国立高等専門学校機構及び各学校ホームページ

登録番号	広C1-2020-454
名称	第2期広島広域都市圏発展ビジョン《資料編》
主管課 所在地	広島市企画総務局企画調整部広域都市圏推進課 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号 TEL 082-504-2017
発行年月	2021年3月